

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 市民青少年交流事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 中学高校教員交流（招へい）
- (3) 中学高校教員交流（派遣）
- (4) 開高健記念アジア作家招へい
- (5) 文化交流企画運営補助（JFボランティア）

### 2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流（主催/招へい）
- (2) 市民青少年交流（助成）
- (3) 異文化理解ワークショップ

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する市民青少年交流事業を外部から受託し実施する。

合計額 30,075,686 円

事業名	氏名	現職	在住国	期間	事業内容
1 JENESYS次世代リーダープログラム	CHO Mi Young	馬山新月初等学校 教員	韓国	2008.06.03 ~ 2008.06.16	東アジアコミュニティの将来を担う各国の次世代リーダー候補者を対象に、対日理解の促進及び親日感情の醸成を図ると共に、東アジアにおける重要なテーマについての議論等を通じて長期的に社会各層・分野にわたる知日派次世代リーダーを育成し、東アジアにおける人的ネットワークを構築することを目的として実施。初年度は環境に焦点を当てNGO/NPO関係者および初中等教育関係者を48名招へい。
	YIM Su Jin	環境正義 職員	韓国		
	FEI Gen Hua	湖州新世紀外国語学校 教師	中国		
	HU Hui Zhe	自然の友 環境NGOプロジェクト担当	中国		
	ARMANSYAH Andy	ワルヒ ソーシャルワーカー	インドネシア		
	RACHMA Diana Agung	州立バンダルジャディ9小学校 小学校教師	インドネシア		
	Ratnasari	森林環境研究所 NGO活動家	インドネシア		
	Salehudin Gafur	国立ジャカルタ高校 教師	インドネシア		
	NGETH Bandith	インドラデヴィ高校 教師	カンボジア		
	PROM Ny	社団法人 シャンティ国際ボランティア会 学校建設部門職員	カンボジア		
	SOEUN Oeuy	地方教師養成学校 教師	カンボジア		
	YUN Visna	社団法人 シャンティ国際ボランティア会 プロジェクトコーディネーター	カンボジア		
	CHIA Yew Loon	ナン・ファ高校 教師	シンガポール		
	ONG Po Theng Kelly	グリーン・ボランティア・ネットワーク	シンガポール		
	SACHIDHANANDAM Uma	シンガポール環境協議会 プロジェクトマネージャー	シンガポール		
	TEO Jo-Hsuang	チュン・チュン高校 教師	シンガポール		
	CHAIPAITOON Vorawan	タイ環境研究所 リサーチアソチエイト	タイ		
CHAROENWATTANA Rithirong	ローン・アルーン学校 教員	タイ			
EMIN Dolnapa	アヌバン・カイ・バンラチャラン学校 教員	タイ			

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	在住国	期間	事業内容
	SRISTHITA Thitinant	グリーン・ワールド・ ファウンデーション 編集スタッフ	タイ		
	ARANETA James Michael Luspo	アテネオ・デ・マニラ 大学 講師	フィリピン		
	DINAMLING Thaisa Mae Dulnuan	ライステラス救済運動 エンジニアアシスタン ト	フィリピン		
	LLOSAS Raquel Almonte	サン・ロレンゾ国立高 校教師	フィリピン		
	RAMOS Jennifer Lao	ティウ・テベス・アン ド・ラモス法律事務所 弁護士	フィリピン		
	ABDULLAH Nurdiyanah Goh	サディナ・オスマン・ トゥトング高校 主任 (科学)	ブルネイ		
	HAJI HASHIM Sarinah	サムジャ高校 主任 (地理)	ブルネイ		
	HAJI MAJIN Haji Ruzaini	ブルネイ日本友好協会 ブルネイ大学支部 副 会長	ブルネイ		
	LIM Han	ブルネイ日本友好協会 ブルネイ大学支部 会 長	ブルネイ		
	NGUYEN Binh Thi Thanh	ヤング・パイオニア新 聞 ジャーナリスト	ベトナム		
	NGUYEN Giang Thi Thu	ベトナム青年団 人 口・保健・環境教育セ ンター プログラ ム・オフィサー	ベトナム		
	ABD RAZAK Noor Asyhikin	ウォーター・ウォッ チ・ペナン 河川・ 水質源教育プログラム	マレーシア		
	CHEAH Eugene Ewe Jin	コタ・キナバル湿地セ ンター 事業開発担当	マレーシア		
	MUSA Sinor Rafliz	国際湿地保全連合 マ レーシア支部 テクニ カルオフィサー	マレーシア		
	NG Julia Su Chen	トラフィック・東南ア ジア地域事務所 プロ グラムオフィサー	マレーシア		
	Phone Aung Hane	ミャンマー再生エネル ギー協会 学生・環境 ボランティア	ミャンマー		
	Thein Myint	ミャンマー森林の友 事務所長	ミャンマー		
	Wah Wah Khine	森林資源開発保存協会 経理担当	ミャンマー		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	在住国	期間	事業内容
	Zaw Seint Sann	森林資源開発保存協会 総務アシスタント	ミャンマー		
	KHANTHAVONG Khamla	タートルアン中学校 教師	ラオス		
	LASOUKANH Oudasack	ラオス青年同盟 副 課長	ラオス		
	OUDONE Phetdala	ラオス青年同盟 ラオ ス国立大学地区 事務 局次長	ラオス		
	PHAIMANY Soonthaly	ビエンチャン中等学校 教師	ラオス		
	NIGAM Pooja	アルモラ・ホーリー・ エンジェル初中等学校 准教師	インド		
	SAINI Sumi t	イドマ財団 プロジェ クトコーディネーター	インド		
	DOMONE Danielle Elizabeth	環境総合センター ビジネス・プログラ ム・マネージャー	オーストラリア		
	LINDSAY Michelle Katherine	ニューサウスウェール ズ州教育・訓練省 コーディネーター（気 候変動に関する学校教 育）	オーストラリア		
	GILLIES Tracy Raukura	カンタベリー大学教育 プラス 教育アドバイ ザー	ニュージーランド		
	PACKARD Aaron Geoffrey	ビクトリア大学 学 生・ボランティア	ニュージーランド		

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 中学高校教員交流 (招へい)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで招へいし、研修、視察の機会を提供する。

合計額 135,695,504 円

	事業名	参加国	参加人数	期間	事業内容
1	中高教員グループ (第1)	韓国 シンガポール ベトナム マレーシア スリランカ トンガ ニュージーランド カナダ エルサルバドル アルゼンチン ウルグアイ アイスランド アイルランド 英国 オーストリア ギリシャ アゼルバイジャン アルメニア ウズベキスタン カザフスタン アラブ首長国連邦 イラン カタール アンゴラ エチオピア	5 3 3 3 3 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3	2008.06.19 ~ 2008.07.02	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供。訪問自治体は、岩手県、大垣市、福岡市。25カ国、77名を招へい。
2	米国教育関係者グループ	米国	26	2008.07.03 ~ 2008.07.16	日本語講座を開設、または開設を検討している米国の初中等教育機関の校長および州教育行政担当官等を招へいし、対日理解の促進及び親日感情の醸成を図ると共に、日本語教育に対する理解を深化させ、米国における初中等レベルの日本語教育の拡充および質の向上を目指すほか、日米教育関係者のネットワークを強化。訪問自治体は下田市。26名を招へい。



市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (3) 中学高校教員交流 (派遣)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで派遣する。

合計額 1,174,837 円

	事業名	対象国	対象機関	参加人数	期間	事業内容
1	韓日教育者交流 事前研修	韓国	韓国国際交流財 団	20	2008.10.21 ~ 2008.11.04	韓国国際交流財団の招へいで実施する日本社会科教育者 招請研修の参加者公募と事前オリエンテーションを実施。 。

1. 人物交流事業費 / (4) 開高健記念アジア作家招へい

日本では紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民へ紹介するとともに、文学関係者間の交流を促進するため、アジアから作家を招へいし、日本各地で講演会等を実施する。

合計額 5,259,373 円

	事業名	氏名	対象国	場所	期間	事業内容
1	第18回開高健記 念アジア作家招 聘事業	ドー・ホアン・ ジュウ	ベトナム	国際交流基金 仙台文学館 大阪国際交流セ ンター 函館市中央図書 館	2009.03.12 ~ 2009.03.25	平成元年に逝去した作家・開高健氏の遺族から寄せられた 寄附をもとに、平成2年から実施しているアジア作家 の講演会シリーズ。平成20年度は日越外交関係樹立35周 年であり、ベトナム日本文化交流センターの開設を始 め、両国の文化交流が幅広い分野で進展していることか ら同国気鋭の女流作家、ドー・ホアン・ジュウ氏を招へ いし、大阪、仙台、函館、東京にて講演会を実施したほ か、高城のぶ子氏、星野智幸氏らと会談・交流。

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (5) 文化交流企画運営補助 (JFボランティア)

日本との文化交流活動を主たる業務としている海外の非営利団体へ市民ボランティアを派遣し、企画運営補助業務を行なう。

合計額 7,749,291 円

	事業名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	榮谷泰子	ドイツ	ベルリン日独センター	2007.09.01 ~ 2008.08.30	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化することを目的に、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。
2	岩下貴卓	インド	インド文部省留学生協会 (MOSAI)	2007.09.27 ~ 2008.09.26	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化することを目的に、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。
3	中井仙丈	タイ	チェンマイ大学	2007.10.09 ~ 2008.12.08	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化することを目的に、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。
4	慶野温子	英国	大和日英基金 (英国)	2008.01.02 ~ 2009.12.28	より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化することを目的に、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (1) 市民青少年交流 (主催/招へい)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家を日本に招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 25,606,811 円

	事業名	氏名	所属	現職	在住国	期間	事業内容
1	持続可能な社会のためのNGO招へい	Mariamah Achmad	Indonesian Forum for Environment (WALHI)	Education Manager	インドネシア	2008. 11. 30 ~ 2008. 12. 11	持続可能な開発のための環境教育をテーマとした「平成20年度若手NPO/NGO関係者及び教員招へい事業 (JENESYSプログラム)」の実績を踏まえ、中南米、東南アジア、アフリカのNGO/NPO関係者15名を招へいし、日本の専門家との情報・意見交換の機会を提供。東京及び沖縄の先駆的取り組みの視察のほか、招へい期間中に開催された文部科学省・ユネスコ主催のESDに関する国際会議にも出席。
		Hendarti Harmi Fepri	Environmental Education Centre (PPLH)	Environmental Education Staff	インドネシア		
		Hendarti Latipah	Indonesian Institute for Forest and Environment (RMI)	Chief Executive Officer (CEO)	インドネシア		
		Naophachanh Vithakone	Participatory Development Training Center (PADETC)	Youth Leader	ラオス		
		Garcia Ruvalcaba Salvador	Manantlan Foundation for Conservation of Biodiversity in the West/University of Guadalajara	Environmental Educator/Professor	メキシコ		
		Ku Doporto Irene de la Cruz	Ninos y Crias A.C.	Environmental Educator	メキシコ		
		Ricalde De Jager Arnold	Organi-K	Environmental-ist	メキシコ		
		Erazo Penaherrera Maria Jose	Fundacion Altropico	Teacher/Biologist	エクアドル		
		Beu Sandra Eliza	Nucleo Interdisciplinar de Ciencias Ambientais (NICA)	Responsavel	ブラジル		
		Marcondes Carolinados Santos	UNILIVRE - Universidade Livre do Meio Ambiente	Coordinator	ブラジル		
		Ribeiro Silvana Maria	Sociedade Ecologica Amigos do Embu	Responsavel	ブラジル		
		Deche Eric Mwasaha Simeon	Wildlife Clubs of Kenya	Programmes Officer	ケニア		
		Kimamo Judy Nyaguthii	Green Belt Movement	Project Officer	ケニア		
		Mahlalutye Andile, Anderson	Mvula Trust	CEO	南アフリカ		
		Peddie Tracy Clare	Wildlife and Environment Society of South Africa	Environmental Educator and Resource Developer	南アフリカ		

市民青少年交流事業費

	事業名	氏名	所属	現職	在住国	期間	事業内容
2	中東映像交流	ZOHAB, Mohammad Mukhtar RAFIQ, Fahim  CIFTCI, Merve, Zeynep  DOGAN, Asuman  ALY, Soad, Shawky  SHAWKY, Abu Bakr, Ahmed	Afghan film  Star Group Communications and Media Services  Turkish Telecommunication Anatolian Technical High School  Turkish Telecommunication Anatolian Technical High School  High Cinema Institute, Academy of Arts  High Cinema Institute, Academy of Arts	Camera main specialist  Producer  Student  Radio Television teacher  Assistant teacher  Student	アフガニスタン  アフガニスタン  トルコ  トルコ  エジプト  エジプト	2009.02.16 ~ 2009.03.02	中東地域から映像専攻等の学生と若手映像作家計6名を招へいし、日本に関するドキュメンタリー映像を制作。制作にあたっては、日本工学院等の専門機関の人材・設備・機材提供を受けるとともに、同学院や一般公募の学生等によるサポーターズ・チームが結成され、制作を通じて招へい学生等と交流。制作作品は招へい者滞在中に上映会を実施。

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (2) 市民青少年交流 (助成)

日本と海外の市民レベルにおける相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 48,152,751 円

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	日本とバングラデシュ・障害者の自立生活をめざす交流	特定非営利活動法人 障害者自立応援センターYAH! DOみやざき	バングラデシュ	2008.04.01 ~ 2008.09.30	地道で粘り強い運動によって今日の社会保障制度が出来上がった歴史を忘れかけている日本の若い障害者と、社会保障制度の確立していないバングラデシュの障害者とは、アート・クラフトの技術交流、バングラデシュで制作されたクラフトの日本への紹介、障害者リーダーの育成を目指した交流事業を実施。協力団体：「バステ・シェカ」、アジア砒素ネットワーク等。
2	バイカモ保全日韓青少年国際交流事業	特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島	韓国	2008.04.01 ~ 2008.11.25	清流の証である「梅花藻 (バイカモ)」の保全活動に関する相互交流のため、韓国と日本の環境NPOや行政、専門家、青少年が相互訪問により研修を実施。日本・三島スタディー・ツアー (韓国側26名参加)、韓国・江華島スタディー・ツアー (日本側参加16名)。
3	21世紀の隣人たちとともに奏でる『多文化共生のステージin金沢』～オーケストラアンサンブル金沢のメンバーとともに～	財団法人 金沢国際交流財団	全世界区分困難	2008.04.01 ~ 2008.12.14	金沢において、オーケストラアンサンブル金沢 (OEK) と、金沢の未来を担う外国人・日本人の子供達の合唱による演奏会、交流会を開催し、舞台上も客席にも多文化共生社会の未来が体感できる場を創出。
4	ワンダーアイズ～未来につなぐまなざし	ワンダーアイズプロジェクト	ブラジル	2008.04.01 ~ 2008.12.25	日伯交流年の認定事業として、写真家による写真映像やトークを交えたブラジルを知るオリエンテーション、日伯の子どもたち同士の写真ポストカードを交換する交流プログラム、ブラジルの子どもたちが写したブラジルの写真展、といった写真文化を通じた両国間の理解促進事業を実施。横浜、川崎、東京、群馬県大泉町で開催。
5	静岡県国際理解教育推進事業	財団法人 静岡県国際交流協会	全世界区分困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	一般の静岡県民を対象に、国際理解教育講座「アース (明日) カレッジ」を開催。講座実施に先立ち、実行会議2回、ファシリテーター養成講座を開催。12月13日に実施されたアースカレッジ2008では、異文化理解、英語教育、国際協力、環境、多文化共生、人権等のテーマ別に受講者が169名に上った。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
6	日露学生による服飾造形に関する意見交換会	杉野服飾大学	ロシア	2008.04.12 ～ 2009.04.19	ロシア・モスクワ繊維大学を会場として開催される学生コンテスト「未来への一步ー造形芸術モードとデザインー」に学生5名と教員2名が参加するとともに、造形芸術を学ぶロシアの学生たちとの意見交換会を開催。またロシア国立繊維大学を訪問しファッションショー形式で作品を披露、繊維大学学生たちとも服飾造形について意見交換と交流を行った。
7	「ブラジル移民100周年祭」	NPO関西ブラジル人コミュニティ	ブラジル	2008.04.12 ～ 2008.04.27	日伯交流年を記念し、相互理解を深めるため、日本在住の日系二世、三世が神戸の旧移住センターにおいて二週間にわたって①海外移住資料室における写真・資料展示及び説明会、②日系ブラジル人教育ワークショップ、③移民100年パネルディスカッション「日系ブラジル人とそのコミュニティのこれから」を実施。
8	大阪大学 学生国際交流企画	虹路（大阪大学グローバルステージ実行委員会）	中国	2008.04.13 ～ 2008.05.02	上海戯劇学院からの交流団を受け入れ、4月13日から26日にかけて大阪大学キャンパスにて、学生・留学生・地域住民と「国際交流」「高齢化問題」をテーマとした交流ワークショップを実施、成果を5月2日に舞台公演として上演し、観客とこれらテーマを共有。
9	今に生きるトルストイ思想をめぐって	トルストイ生誕180年祭実行委員会	ロシア	2008.04.19 ～ 2008.04.28	トルストイ生誕180周年を記念して、日本ロシア文学会、日本トルストイ協会、群像社、阿部事務所（ロシア等の文化紹介事業を行う会社）の4団体共同企画による講演、個展、記者発表、懇談会を実施。
10	エスチュエル・ビエンナーレ作品製作で交流	特定非営利活動法人有形デザイン機構	フランス	2008.04.20 ～ 2009.06.03	2007年から始まったエスチュエル・ビエンナーレで、日本の七夕をイメージして制作されたジャルダン・エトワレ（星庭）を、制作地であるフランス・パンブッフ村の子ども向け野外芸術施設として充実させる事業。実施にあたっては、日仏大学の建築科学生と造園家が参加、パンブッフ村の一般村民、小中学生、公務員もボランティア参加し、その過程において交流事業を行った。
11	エコビレッジ国際会議 TOKYO 2009	NPO法人ビーグッドカフェ	全世界区分困難	2008.04.24 ～ 2009.04.26	世界で広がる持続可能なライフスタイルモデル「エコビレッジ」について、「『環境危機世紀 持続可能なコミュニティへの挑戦』～小さなアクションから大きなうねりへ～」をテーマに、デンマーク、韓国、スリランカから計4名の専門家を招き、同コンセプトに関心を寄せる日本の専門家とともに3日間の国際会議を開催。有用な事例を紹介しながら、エコビレッジ成功のための条件を考え、日本におけるエコビレッジ建設と運営の道筋を模索。一般参加者918名。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
12	逢いたくばプロジェクト	逢いたくばプロジェクト実行委員会	ブラジル	2008.04.25 ~ 2008.06.30	ブラジル・パラナ州ロンドリーナ市において、写真家・八木仁志による日系移民の肖像写真展と写真取材を実施。また、ローランジャ市の入り口に、日伯の子どもたちが制作した花風車を用いて「虹の花風車」モニュメントを制作。日伯交流年の公式認定事業。
13	『青少年のための地球市民講座』多文化共生人材育成事業	財団法人 横浜市国際交流協会	全世界区分困難	2008.04.26 ~ 2008.12.13	50人に1人が外国人、154ヶ国の国と地域の外国籍市民が暮らす横浜の多文化社会の実情を理解し、ボランティア活動を通じ、多文化共生社会に寄与できる青少年人材の育成をめざし、多文化共生をテーマとした6回の連続講座を開催。講師・パネリスト40名。フェリス大学と共催によるシンポジウム開催、横浜国立大学の履修科目としても協力を得た。
14	竹プロジェクト2008	龍田共育ネットワーク	米国	2008.04.30 ~ 2008.05.07	ニューヨーク州エッジモント学区の2つの小学校を訪問し、1~4年生の子どもと保護者、教員を対象として、龍田プレイパーク活動のうち、竹についてのレクチャーを行うとともに、スーパー竹とんぼ、スタードーム等の竹細工を紹介。
15	市民祭りチーム 朝鮮通信使文化交流	特定非営利活動法人 翔青会	韓国	2008.05.02 ~ 2008.05.05	北九州市民100名余りが釜山朝鮮通信使韓日交流事業に参加し、県無形文化財黒崎祇園山笠を紹介。平和行列にて、実際の山笠一基を勢い良く回転する「回し練り」を披露。
16	「吉田の火祭り インジャクソン」支援・交流事業	VISTA360° ジャクソン火祭り支援会	米国	2008.06.17 ~ 2008.06.25	富士吉田市の「ジャクソン火祭り支援会」メンバーが、米ワイオミング州ジャクソンホールの非営利組織 VISTA360° の「ファイヤー・フェスティバル」の準備と実施を指導するとともに「吉田の火祭り」の歴史や背景の教育プログラムを実施。同地の日本文化理解を深め、山岳コミュニティとの交流の礎を築いた。
17	郡上おどり in トロント	郡上八幡観光協会	カナダ	2008.06.27 ~ 2008.06.28	日加修好80周年の機会をとらえ、カナダ・トロント市内のメトロホール及び日系文化会館にて、国重要無形民俗文化財「郡上おどり」と新内ながしを披露するとともに市民に踊りの講習を実施。日本の民衆文化を体感してもらい、国際相互理解の促進を図った。
18	International Youth Round-table Conference	Japan Youth G8 Project	全世界区分困難	2008.06.29	世界15カ国から18団体25名の青年を招へいし、日本各地の40団体70名とともに地球規模の課題（気候変動、生物多様性、貧困開発など）について議論し、ユースステイメントを作成するとともに日本政府の政策立案者（行政官）を議論の場に招待し、ユースステイメントについて意見交換を実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
19	日韓海峡圏学生サミット2008	日韓海峡圏学生サミット実行委員会	韓国	2008.07.01 ~ 2008.11.01	日韓両国の学生各7名が、玄界灘次世代ネットワークと日韓新時代の未来について「環境」を具体的なテーマとして議論。その成果はサミット学生代表により、11月、釜山市で開催された釜山-福岡フォーラムにて、釜山・福岡市長に提言書の形で提出。
20	ラオスNGOスタッフによる日本の交流校での交流授業	特定非営利活動法人アジア教育友好協会	ラオス	2008.07.04 ~ 2008.07.13	ラオスの山岳少数民族の村における学校建設や日本とラオス間の子供たちの国際交流を支援するラオスNGO：Village Focus Internationalのスタッフ2名を日本へ招聘し、交流事業を通じて日本の子どもたちの国際理解を深め、同時にラオススタッフにも日本の学校現場体験を通じ、国際交流の意義や今後の展開について考える機会とした。
21	日比青年交流支援プロジェクト「南の島に愛が降る」	社団法人 周南青年会議所	フィリピン	2008.07.10 ~ 2008.07.13	周南市の高校生、大学生、一般市民、青年会議所会員34名が、現地NGO LOOB (Love Our Own Brethren) の協力のもと、フィリピンパナイ島イロイロ市を訪問し、現地市民とのコミュニティ貢献事業（小学校の壁の塗装）、環境衛生に役立つ為の物資の支援、ホームステイを実施。
22	日本の都市計画と歴史的遺産	Paris La Villette 国立高等建築学校	フランス	2008.07.11 ~ 2008.08.03	フランスの建築専攻の学生9人と指導教官2名が訪日し、日本の都市計画と歴史的遺産をフィールドトリップで学ぶと共に、東大での集中ワークショップや、協力関係のある大学の教官からレクチャーを受講するとともに東大大学院生との交流を実施。帰国後は、訪日の成果を学内で展示。
23	香川県サッカー少年団派遣交流事業	社団法人 香川県サッカー協会	ブラジル	2008.07.24 ~ 2008.08.01	申請団体の少年団（小学6年生）18名とコーチ、随行者をブラジルに派遣し、サンパウロ近郊においてサッカーを通じた交流や、小学校訪問、ホームステイ等により交流事業を実施。
24	応用ドラマプロジェクト「私たちの街の物語」	特定非営利活動法人シアタープランニングネットワーク	英国	2008.07.25 ~ 2008.08.05	ロンドン大学でコミュニティシアターを学ぶ3名の学生、日本でアートマネジメントを学ぶ4名の学生が、それぞれ演出家と通訳コーディネーターとしてペアを組み、パフォーマーとしての広島県三原市近郊の小学生・中学生21名とともに、プロムナード型パフォーマンスを創造。テーマを「環境」「市民としての責任（シティズンシップ）」とし、成果パフォーマンス「私たちの街の物語」を発表。
25	韓日青少年文化芸術交流ワークショップ”きくち森の中の幼虫たち”	子供文化芸術学校	韓国	2008.08.04 ~ 2008.08.10	韓国と日本の小・中学生各28名と30名が熊本県菊池市の廃校を改造した自然キャンプ場に集まり、ワークショップを開催し、その成果をパフォーマンス”きくち森の中のあおむし！”の共同制作として、発表公演を行った。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
26	JAPANTRIP2008	日中学生交流団体 freebird	中国	2008.08.04 ~ 2008.08.12	中国・復旦大学の学生を中心とした中国人学生15名を日本に招へいし、京都及び東京で日本の大学生と「環境」「情報発信」をキーワードに相互理解促進イベントを実施。法政大学で実施したイベント成果発表会のはべ150人が参加。
27	ユース・フォー・ピース・プログラム 2008	特定非営利活動法人 ピース・キッズ・サッカークー	イスラエル パレスチナ	2008.08.04 ~ 2008.08.15	イスラエルの女子高校生4名と指導者1名、パレスチナの女子高校生4名と指導者1名及び日本の女子大学生5名の計15名が、山梨県・小菅村を中心に、文化・伝統・自然体験を通して地域のことを考え、それぞれの地域から平和な世界を作り上げていくきっかけを作る12日間のプログラムを実施。テーマを「絆」とし、共同生活と対話を通じて交流を深めた。
28	第23回 日韓学生会議 東京大会	日韓学生会議	韓国	2008.08.04 ~ 2008.08.20	日韓学生会議に所属する日本学生21名と、韓日学生会議に所属する韓国学生20名が、学生ボランティア通訳7名を交えて、分科会議等を通して交流、活動内容を公開シンポジウムの中で発表。分科会テーマ「インターネットにおける知的財産権」、「外国人労働者の子供」、「ウトロ村問題」、「東北アジアの安全保障」、「従軍慰安婦」、「教育における愛国心」、「メディア」
29	第4回高校生写真国際 交流事業・日韓高校生 写真交流の集い	社団法人全国高等学校 文化連盟写真専門部	韓国	2008.08.05 ~ 2008.08.17	日本と韓国の高校生各15名が写真を通してのワークショップでお互いの交流を深める。同じメンバーが相互訪問により寝食を共にしながら、日本では全国高等学校総合文化祭群馬大会にも参加し、撮影会、作品鑑賞、セミナー等を開催。韓国ではグループ別組写真作りや撮影会を開催。
30	日伯交流年ブラジル移 住100周年野球交流	財団法人 全日本大学 野球連盟	ブラジル	2008.08.06 ~ 2008.08.20	ブラジル国における日本人移民100周年記念行事のため招聘を受けた全日本大学野球連盟が、連盟として早稲田大学野球部、慶應義塾大学野球部を派遣し、ブラジル各地で野球というスポーツを通じた国際交流を実施。市民・青少年を対象とした野球教室の開催、日本の野球の魅力、文化を伝えるための交流戦を開催。
31	日本ケニア学生会議第 9期本会議	日本ケニア学生会議	ケニア	2008.08.08 ~ 2008.08.27	日本とケニアの相互理解・交流を促進するため、日本人学生10名がケニアを訪問し、ケニア大学生15名と「平和」をテーマとしたディスカッションとフィールドワーク、ホームステイを実施。本会議の分科会においては「平和的共存は可能か」を議題に討論。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
32	第24回日韓学生フォーラム	第24回日韓学生フォーラム	韓国	2008.08.10 ~ 2008.08.24	8月の2週間、韓国ソウルにて、日本メンバー18名と韓国メンバー17名が合宿し、分科会（経済・政治・歴史・文化・現代社会）における発表と議論、シンポジウム（North Korea, Culture, Confort Women）を実施するとともに文化交流活動として両国文化紹介、ホームステイ、Tシャツ横断幕作りを実施。対話は英語による。
33	第6回 日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議	日本・イスラエル・パレスチナ学生会議	イスラエル パレスチナ	2008.08.12 ~ 2008.08.31	イスラエル5名、パレスチナ3名を日本に招へいし、日本人大学生16名とともに「歴史認識」、「和平の阻害要因」、「イスラエル・パレスチナの多様性」をテーマにしたディスカッション、長岡市における市民交流会と高校生交流プログラム、及び旧山古志村の見学と地域のお祭り参加等を実施。
34	青少年サハリン・北海道「体験・友情」の船	北海道・ロシア極東交流事業実行委員会	ロシア	2008.08.15 ~ 2008.08.21	サハリン側青少年80名が北海道を訪問し、日本（北海道）側青少年96名と文化、交流、ホームステイなどを通して国境を越えた友情と独立心を育み友好と平和の担い手を育成する交流事業を実施。1999年から隔年の相互訪問により実施する、北海道とサハリン州との青少年交流事業。
35	21世紀のこども通信使事業	21世紀の日韓こども通信使実行委員会	韓国 中国	2008.08.18 ~ 2008.08.26	朝鮮通信使、遣隋使の歴史がある日本、韓国、中国の3国間のこども達の国際交流事業。韓国、中国からそれぞれ小中学生を20名ずつ日本に招へいし、日本の朝鮮通信使のゆかりの地（福岡、下関、神戸、奈良、滋賀）で、グループに分かれて交流事業を実施。その後、静岡で参加者全員が集まり、「こども夢サミット」開催。
36	日韓友好交流ボランティアワークキャンプ2008	グッド!	韓国	2008.08.18 ~ 2008.08.30	韓国ユネスコ委員会及びキャンプ地である原州市地盤の劇団Modugolの協力を得て、原州市ソンゴク里にて、日本人と韓国人の若者が協力して、農作業ワーク、伝統芸能の練習等、村での共同生活、共同作業を実施。
37	インドネシアと日本の子どもたちの共同壁画制作による異文化交流	ジャパンアートマイル実行委員会	インドネシア	2008.08.22 ~ 2008.09.03	インドネシアと日本の修好50周年を記念して、日本（赤穂市）の中学生6名が申請団体スタッフとともにインドネシア（バリ）を訪問し、ネカ美術館において、「地球のいのち」と「神の世界・人の世界・自然の世界」をテーマに、ディアトミカ中学校において「友情」をテーマにそれぞれ両国の中学生が壁画を共同制作。完成作品を展示。
38	マーシャル諸島・日本次世代交流キャンプ	特定非営利活動法人アジアボランティアセンター	マーシャル諸島	2008.08.22 ~ 2008.09.01	マーシャル諸島および日本の青少年が、現地NGO（ワム、マーシャル諸島保全協会、エラブ、ユース・トゥ・ユース等）の協力を得て、現場体験学習を行い、マーシャル諸島の伝統的なライフスタイルと文化、環境問題、歴史と平和といったテーマで相互理解を深めた。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
39	Study Trip 2008 from Thailand to Japan	アジア法学生協会 Japan	タイ	2008.08.23 ~ 2008.08.30	日本の法学生48名、タイの法学生20名が東京に集まり、「日本とタイに共通する社会問題を通じた人権考察」をテーマに、「人権」という法的観点から議論するとともに、成果を学術交流発表会にて発表。交流促進プログラムでは「友好性の促進と多様性の認識」をテーマに交流会、語学教室、文化紹介、文化視察、国会議事堂見学などを実施。
40	ブラジル移民100周年記念 日系人が創造した身体表現による日伯交流	タマンドゥア・ダンスシアター・カンパニー 日本公演実行委員会	ブラジル	2008.08.28 ~ 2008.09.09	日伯交流年の機会に、タマンドゥア・ダンスシアター・カンパニーを招へいし、日本で生まれ、ブラジルの新たな芸術として定着させた「舞踏」を公演、ワークショップを通じて紹介。多民族国家での日系ブラジル人の歴史と生活から生まれた表現と生き方をもとに市民・学生と交流。
41	日本アフリカ学生会議第3期本会議	特定非営利活動法人日本アフリカ学生会議	ガーナ	2008.09.01 ~ 2008.09.20	ガーナ大学教授の指導のもと、日本人学生3名がガーナを訪問し、JICAプロジェクト、現地NGO Pride Rivival in Youthの訪問、カカオ農園訪問、及びガーナ大学の学生3名との議論を実施。
42	日伯交流100周年記念「ブラジルをもっと知ろう！」	財団法人浜松国際交流協会	ブラジル	2008.09.01 ~ 2009.03.31	日伯交流年と浜松市多文化共生センターのオープンを記念し、市民にまだ知られざるブラジルの側面を紹介し、その良さと奥深さを知ってもらう3回の連続講座を開催。講義テーマは「ブラジルの旋律を楽しもう」、「世界を支える食糧大国ブラジルのアグリビジネス」、世界に誇る高度技術「ブラジルのバイオテクノロジー」。講師派遣に基金が協力した共催事業。
43	2008年ブラジル日本移民百周年記念事業（原爆死没者慰霊・平和交流事業）	社団法人 京都府原爆被災者の会	ブラジル	2008.09.05 ~ 2008.09.07	ブラジル在住の被爆者、関係者やブラジル国籍の第二次大戦従事者と交流するため、ブラジルのNPO法人MCDとブラジル市会議員国民協会の招待で、京都ブラジル文化協会や在ブラジル京都人会等と連携し、「平和の日」記念集会や「原爆写真展」を開催。日伯交流年の一環。
44	日本ブラジル移民百周年記念協賛事業	特定非営利活動法人京小町踊り子隊プロジェクト	ブラジル	2008.09.05 ~ 2008.09.07	青少年育成を通じて京都PR隊として活動している京小町踊り子隊が、ブラジル日本移民百周年に協力し、ブラジル京都創設記念式典、京都文化産業フェアでの公演、日系2世、3世との交流、サンパウロ大学学生との交流、及びリオデジャネイロの小学生との日本舞踊とサンバの競演等を実施。
45	ビエンナーレを巡る日露青年交流と展望	日本・ウラジオストク協会	ロシア	2008.09.08 ~ 2008.09.13	ウラジオストクの美術家8名を招き、討論会、ワークショップ、展示、ミニコンサート等の交流事業を通じて、2009年にウラジオストクで開催されるビエンナーレに向けての意見討論及び参加者による現代美術展の紹介、交流を実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
46	鑑真和上記念「逆渡航・日中青年交流計画」	鑑真記念・日中青年交流計画実行委員会	韓国	2008.09.08 ～ 2008.09.17	唐時代に苦難の末、渡日し多くの功績をあげた鑑真和上の遺徳を偲び、公募による学生（日本人24名、中国人留学生6名）が鑑真和上の渡日した逆ルートをフェリーでわたり、洋上で研修。上海上陸後、鑑真ゆかりの地や南京大学、浙江大学、復旦大学を訪問、シンポジウムの開催、リクリエーションなどを通じて日中青年交流を実施。
47	小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ	特定非営利活動法人JHP・学校をつくる会	全世界区分困難	2008.09.13 ～ 2009.03.28	国際協力に関し、講義、体験ボランティア、カンボジアにおける活動を通じ、「理解を深め、実践へ」を狙いとした連続講座を実施。座学部門受講者28名、カンボジア現地研修には受講生を17名を含む22名が参加。講師は元大使、大学教授、NGO役員などが協力。
48	ベトナムフェスティバル2008	アイセック一橋大学委員会	ベトナム	2008.09.17 ～ 2008.09.30	日越の将来を担う学生の市民レベルの交流促進を目的として、ベトナム人学生をインターンシップ運営事業の一端として日本に受け入れるとともに、日本人大学生29名がハノイ・ホーチミンを訪問。ベトナムフェスティバル2008inジャパン（会場：代々木公園）へも参加。
49	ふれあいフェスティバル in ソウル	特定非営利活動法人車椅子レクダンス普及会	韓国	2008.09.26 ～ 2008.11.03	日本で普及している車椅子ダンスを韓国市民と大学生に普及してきた成果として、ふれあいフェスティバルを韓国・ソウルで開催。日本から障害者8名を含む104名が参加。
50	福岡市・大連市におけるまちづくり市民人材育成・活動交流事業	財団法人福岡アジア都市研究所	中国	2008.09.28 ～ 2008.10.01	まちづくり活動に自発的に参加し、市民によるまちづくり文化の醸成と普及にも積極的に取り組む市民を、福岡市の民間・行政両分野から大連市に派遣し、ワークショップ等を通じ、現地の市民（民間・行政関係者）との交流を実施。「アジア太平洋都市サミット」公式プログラムの一環として実施。
51	文化遺産と街づくり	バンコク・フォーラム	タイ	2008.10.20 ～ 2008.10.27	バンコクの旧市街（プラナコン地区）の史的建築物と街並みの保存、及びコミュニティの活性化を図るため、タイの専門家6名が京都（町屋地区）、東京の下町（谷中）を視察し、日本の現地関係者から街並み保存・地域活性化に関する経験を学んだ訪日スタディ・プロジェクト。訪日の成果は、バンコクにおいてシンポジウム実施等を通じ、バンコクの市民、学識者にも還元。
52	第5回 日中友好促進青少年交流事業	徳島県日中友好協会	中国	2008.10.28 ～ 2008.11.03	中国の大連外国語学院・東北大学・遼寧師範大学の学生を対象に弁論大会を実施し、優秀者4名の学生代表を親善特使として徳島に招へい。日本の青少年と「異文化のつどい」と題するシンポジウムを開催。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
53	日韓交流韓国現代美術展	AKIGAWA日韓交流会	韓国	2008. 11. 01 ～ 2008. 11. 24	相互の文化交流、地域の活性化と青少年の健全な育成を目的として、韓国の現代美術家4名をあきる野市に招へいし、東京都無形文化財である軍道と紙のふるさと工房で展覧会、講演会、ワークショップ等を実施。
54	日本・キューバ囲碁文化交流	特定非営利活動法人囲碁国際交流の会	キューバ	2008. 11. 12 ～ 2008. 11. 22	日本の市民65名がキューバ・ハバナ市を訪問し、キューバの市民・学生らと囲碁対局、囲碁の歴史・文化・普及についての報告・意見交換を実施。併せてキューバからの囲碁留学生育成の報告や日本文化の紹介・ワークショップを行い、関係機関を訪問。
55	フィリピン・ムスリム女性リーダー訪日事業	ピース・ウィメン・パートナーズ	フィリピン	2008. 11. 16 ～ 2008. 11. 26	日本社会、関係学界等にフィリピン・ムスリム、とりわけ女性のおかれている状況を伝え、その文化を紹介するとともに、ミンダナオ地域の平和構築のためフィリピン・ムスリム女性間の経験や展望を共有できるネットワークづくりのため、6人のムスリム女性リーダーが訪日し、九州大学、大阪大学でフォーラムを開催するとともに、名古屋大学で開催される日本平和学会で講演。NGO関係者とも意見交換を実施。
56	インドネシア・日本市民社会交流 2008	いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク（あいあいネット）	インドネシア	2008. 11. 30 ～ 2008. 12. 12	インドネシアの地域で活動するNGO（INCREASE、ADBMI）の若手リーダー各1名を日本に招へいし、日本のNPO活動（神戸市のまち・コミュニケーション、市民活動センター神戸）や地域づくりの現場（佐渡市）を訪問し、市民社会活動の関係者と交流。さらに大阪経済大学、明治大学において講義を行い、インドネシアに関心をもつ学生と意見交換を実施。
57	伝統織物の復興から学ぶ再生への途	戦争を生き抜く女たちプロジェクト	カンボジア 東ティモール	2008. 12. 01 ～ 2009. 03. 31	長い紛争で失われつつあったカンボジアのクメール織の復興に尽力したクメール伝統織物研究所の経験、東ティモールのタイス織の復興を目指すNGO（地域国際活動研究センター）のそれぞれの取り組みを展示と講演で紹介。クメール織についてはクメール伝統織物研究所日本代表：西川潤氏、タイス織については地域国際活動研究センター事務局長：杉本正次氏にそれぞれ講演と展示資料提供等、協力を受けた。
58	メキシコ的女性詩人・工芸家との文化交流	一般社団法人 日本詩人クラブ	メキシコ	2008. 12. 10 ～ 2008. 12. 25	アメリカ合衆国からメキシコへ帰化し、チアパス州サン・クリストバル市に暮らしつつ詩作し、先住民とともに工芸活動を行うアンバル・パスト氏を招へいし、日本ペンクラブ、横浜詩人会と共催で、詩の朗読・講演会（春日部共栄高校、東京大学教養学部を含む）、懇親会、手漉き和紙の作成実習等を実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
59	ベトナムから「八幡太鼓 響け世界の大空に」	八幡太鼓保存会	ベトナム	2008. 12. 11 ~ 2008. 12. 16	日本ベトナム外交樹立35周年記念として、2008年4月に日本で講演したグエン・ドク氏からの要請に応え、八幡太鼓のジュニアベストチーム24名及びスタッフ10名がベトナム・ホーチミン市を訪問し、日越歌合戦に特別参加したほか、ツーズ美容院枯葉剤障害者施設、ホーチミン市師範学校を訪問し、公演と交流会を実施。
60	国際こどもアート・フェスティバル インシンガポール	特定非営利活動法人 パディング アーティスト ファンド ジャパン	シンガポール	2008. 12. 19 ~ 2008. 12. 23	日本の子ども（石神井学園6年生6名）がシンガポールのBTパディング・アーティスト・ファンドを訪問し、シンガポールの子どもたちとともにアート、ダンス、歌のワークショップに参加して、文化交流を行った。BTパディング・アーティスト・ファンド（BTBAF）が2005年から開催している、「アートキャンプ」と連動して開催。
61	第42回 日韓学生会議	日本国際学生協会	韓国	2008. 12. 23 ~ 2008. 12. 28	日本国際学生協会に所属する日本人学生24名と、韓国国際学生協会に所属する韓国人学生約12名が、「未来への架け橋—私たちの東アジア共同体—」をテーマに、6日間にわたり分科会議や文化交流企画を通して交流し、最後に公開サマリー発表会を開催。
62	日・タイ学生による文化交流キャンプ	特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか (TIFA)	タイ	2009. 01. 04 ~ 2009. 05. 30	申請団体が過去5年にわたり日本語ボランティア教師を派遣してきたタイ国立シンプリ校から、日本語クラスで学び将来日本との架け橋となる仕事に関心を持つ生徒・卒業生4名と随任教員2名を大阪に招へいし、地元高校・大学生、ボランティアスタッフと総勢41名で3日間のキャンプイベントを企画・運営。
63	日中社会起業家育成のモデル検討のための交流研究事業	特定非営利活動法人エティック	中国	2009. 01. 13 ~ 2009. 01. 18	2007年度に「日中社会起業支援組織ネットワーク形成のための交流研究事業」として、社会起業を支援する中間支援組織間の交流研究活動を北京と東京で行った。2008年度以降は、その取り組みをさらに進めた形で、3か年の計画で、日中両国における社会起業家育成のためのモデルを形成する、基盤づくりのための交流研究プログラムを実施。
64	コーディリエラ・ユース・エコ・サミット 2008	音楽ネットワーク 環音（わをん）	フィリピン	2009. 01. 20 ~ 2009. 02. 10	フィリピン・コーディリエラ山岳地方の6つの州から集まった若者たちが、コミュニティ演劇の創作を通してお互いが抱える環境問題を共有し、解決策を話し合うため、日本から専門家や環境NGO、先住民族の方たちを派遣。イフガオ州マヤオヤオ、カリンガ州ルプアガン、ベンゲット州バギオ市において、それぞれ演劇上演、映画上映、写真展等を実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
65	日本・トルコの架け橋を作る子ども交流事業	特定非営利活動法人 国際ボランティア21	トルコ	2009.01.25 ～ 2009.02.03	本事業はトルコ学生団体ILKYARと申請団体が中心となる学生ボランティアの協力のもと、トルコの子ども7名とスタッフ3名を招へいし、東京における活動（社会見学、小学校交流、ボランティア活動、交流ゲーム）と新潟におけるキャンプ（ホームビジット、雪かき、餅つき大会、小学校交流）を通じて、日本の子どもたちと交流。国際理解教育の推進と多文化共生社会を担うリーダーの育成を実施。
66	“学びの共同体”を通じた韓日教師交流	ガンディ学校	韓国	2009.01.28 ～ 2009.01.31	韓国初のオルタナティブスクールである申請団体が、開校10周年の機会に実施した教師交流事業。同学校より24名の教師が訪日し、日本の授業改革の成功事例として東京大学佐藤学教授の提唱する「学びの共同体」理論を取り上げ、東京大学及び同大付属校において教員ワークショップを実施。また、「学びの共同体」実践校（富士市立岳陽中学校）を訪問し、現場教員との交流を実施。
67	障害者とクラウンズとのワークショップ研修	特定非営利活動法人 いちかわ市民文化ネットワーク	米国	2009.02.19 ～ 2009.03.09	能力ある障害者による舞台芸術活動の職業訓練をめざしニューヨークで活躍するクラウンズ・カンパニーを招へいし、「チャレンジド・ミュージカル公演」事業の一部として市川、成田、東京等で7回のクラウンズ芸のワークショップ、また三世帯市民を対象としたワークショップを6回実施。
68	活気ある地域づくりのための日英NPO交流	特定非営利活動法人 市民社会研究所	英国	2009.02.28 ～ 2009.03.07	イギリス・グロスターシャー県のNPO実践家（中間支援組織）2名を招き、東京（立教大学）及び三重県において日英NPOフォーラムを開催。三重県では、県内NPO7団体を訪問し、地域レベルのNPO関係者と市民社会の発展のあり方について意見交換を行った。
69	スリランカ津波対策のための学校教育支援	スリランカと佐賀の会	スリランカ	2009.02.21 ～ 2009.03.01	2004年の津波によるスリランカの被害は、津波の知識の欠如によるという認識のもと、2006年に佐賀県民の協力でスリランカの高校に図書館を建設。同図書館を中心に、スリランカに研修講師と申請団体メンバーを派遣し、子供達と地域住民に津波対策教育を実施。
70	インドネシア農民との農業体験交流	学校法人 アジア学院	インドネシア	2009.02.01 ～ 2009.02.27	アジア学院日本人学生3名及び一般参加者2名がインドネシア・スマトラ島を訪問し、インドネシアの若手農業者等12名と共に、Rural Development Action (RDA)研修センターにて、持続可能な農業についての研修活動に参加。農業環境の保全や自然災害後の農業による復興について学んだほか、申請団体卒業生の活動現場の視察、地元農家でのホームステイ、地元高校との交流プログラムも実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
71	日本とペルーの若者の共同ボランティアを通して、お互いの国を発見しよう	特定非営利活動法人ギブ	ペルー	2009.02.20 ～ 2009.03.10	兵庫及び近隣県に増えてきた在住ペルー人をよりよく理解することを目的として、日本の若者5名及びコーディネーター2名をペルーに派遣し、同国のサン・ビセンテ・デ・カニエテ市内に滞在、現地在住の日系人及びペルー人23名とともに貧困地域サンタ・クルス村において国際協力と折り紙、日本語等の日本文化紹介を実施。一般市民との交流の場も設定。
72	平成20年度「地球市民講座」	財団法人福岡国際交流協会	全世界区分困難	2009.02.03 ～ 2009.03.03	地球市民講座は、市民を対象に世界の国や地域の社会、文化事情や地球上で起こっている様々な問題等への理解をより深めるため、専門家を招き、シリーズで開催する講座。平成20年度のテーマは「イスラム社会のいま」。基金より異文化理解講座で実績のある講師を紹介し、4回の連続講座を実施。
73	TETSUSON Korea	TETSUSON Korea	韓国	2009.03.01 ～ 2009.03.09	2009年3月3日～8日に横浜のBankART Studioで開催する同展2009に対し、2007年よりこの企画に参加している韓国のカウンターパートが40名展示参加し、両国のデザイン・芸術系学生の交流を行った。
74	東アジアメディア比較プロジェクト	東アジアメディア研究学生会議	韓国 中国	2009.03.02 ～ 2009.04.25	中国3名、韓国3名、トルコ1名、日本7名の大学生が、「小泉元首相の靖国参拝」等共通のトピックについて新聞を中心に報道振りを調査する事前準備を経て東京に集まり、3ヶ国対話を始めているジャーナリスト等メディア関係者からヒアリングを実施。招へい参加者滞在中に成果の最終報告会を公開で実施したほか、日本人参加者が渋谷教育学園幕張高等学校において出張授業を実施。
75	東アジアを繋ぐEco-Project ～中国黄土高原緑化事業～	特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会	中国	2009.03.04 ～ 2009.03.14	「環境問題」をテーマに、日本国内の青少年83名が11日間陝西省を訪問し、砂漠化が進む黄土高原において西安外国語学院学生・地元林業局関係者・地元中学生・高校生等170名と植林活動を通じ、寝食を共にし、交流を深めた。
76	日伯交流年記念「京都・ブラジル友好の森プロジェクト」	NGO緑の協力隊・関西澤井隊	ブラジル	2009.03.07 ～ 2009.03.16	日本・ブラジル移民100周年と申請団体創立10周年記念事業の一環としてアマゾン下流のパラ州ベレン市近郊の荒疎林地において、現地小学校200人の児童と派遣隊員22名の協働作業で熱帯雨林再生目的の植林を実施。現地協力団体：アマゾン森林友の会協会（ASFLORA）
77	シンガポール青少年と囲碁を通じた文化交流	特定非営利活動法人碁スカイパーク	シンガポール	2009.03.16 ～ 2009.03.22	2007年1月、日本の青少年のシンガポール訪問を契機として始まった碁のネットワークを利用した国際交流を発展させ、2009年3月にシンガポールの青少年・指導者14名を日本に招へいし、千葉、横須賀、江戸川（東京）の青少年と碁を通じた交流事業を実施。

市民青少年交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
78	2009年模擬国連会議全米大会第26代日本代表団派遣事業	2009年模擬国連委員会	米国	2009.03.20 ~ 2009.04.11	2009年4月に開催された模擬国連会議全米大会に日本から東京、関西の大学生10名を代表団として派遣、提携校オハイオ州デイトン大学（米国）の学生14名とともに大会に参加したほか、国連本部での職員ブリーフィング、日本政府代表団訪問等も併せて実施。
79	青少年のサケ学習国際交流事業	北海道サーモン協会	カナダ	2009.03.26 ~ 2009.04.03	サケを介して環境保全の重要性を参加生徒に認識させることを主目的とし、札幌市内の小中学生16名と引率教員2名をカナダ・ブリティッシュ・コロンビア州第83学区に派遣し、両者が共通して持つ自然環境を生かし、現地生徒とともに環境センターなどの野外活動やホームステイ等、9日間の体験・交流活動を企画・運営。

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (3) 異文化理解ワークショップ

日本におけるより正確で深い異文化理解促進のため、公開講座や巡回展示を実施する。

合計額 20,630,941 円

事業名	対象国	都市	場所	期間	事業内容	
1 異文化理解講座	日本	東京	国際交流基金	2008.04.01 ~ 2009.03.31	諸外国の社会・文化事情やその歴史的背景などについてより深い関心と正確な理解を促し、且つ、当該地域の社会・文化・芸術等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的として、一般市民向け講座を実施。	
2 異文化理解講座出版	全世界区分困難			2008.04.01 ~ 2009.03.31	異文化理解講座の内容を書籍化して市販流通させることにより、広く一般の人々に同講座の情報を提供。本年度は、山川出版社との共催により、『神話と芸能のインド神々を演じる人々』を出版、東京堂出版との共催により、『中南米の音楽』を出版。	
3 第11回漫画展	インドネシア	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	2008.04.25 ~ 2008.05.19	平成18年度に開催したアジア10カ国（バングラデシュ、中国、インド、インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム）の新聞、雑誌などの第一線で活躍中の諷刺漫画家10名が諷刺とユーモアで描いた「第11回アジア漫画展－アジアの若者文化」（作品77点）をインドネシア、タイ、中国、カンボジア、フィリピンに巡回。	
		スラバヤ	ハウスオブサンブルナ	2008.06.11 ~ 2008.06.30		
	タイ	バンコク	バンコク日本文化センター	2008.07.31 ~ 2008.08.25		
		ナコンラーチャシーマー	ナコンラーチャシーマー・ラチャバット大学	2008.09.08 ~ 2008.09.21		
	中国	洛陽	河南洛陽美術館	2008.10.17 ~ 2008.10.26		
		柳州	柳州博物館	2008.11.03 ~ 2008.11.10		
	カンボジア	プノンペン	王立プノンペン大学	2008.12.13 ~ 2009.01.03		
			日本人材開発センター			
	フィリピン	バギオ	バギオ	SM Cityバギオ		2009.02.01 ~ 2009.02.15
			マニラ	メトロ・マニラ首都圏SM Mega Mall		2009.02.18 ~ 2009.02.27
マニラ		メトロ・マニラ首都圏 Mall of Asia	2009.02.28 ~ 2009.03.15			